

DATABASE MANUAL



<http://www.syokubutsuen-kyokai.jp/>

絶滅危惧植物保全データベース
マニュアル

絶滅危惧植物保全データベース・マニュアル

平成 27 年 6 月改訂版発行

制作 公益社団法人日本植物園協会 植物多様性保全委員会
絶滅危惧植物保全データベース分科会

「絶滅危惧植物保全データベース」マニュアルのはしがき

公益社団法人日本植物園協会
植物多様性保全委員会
委員長 遊川 知久

日本植物園協会は、わが国の野生植物の保全を重要な事業と位置づけ、さまざまな取り組みを進めてきました。「植物多様性保全拠点園ネットワーク」を中核とする会員園の活動により、全国の植物園で日本の絶滅危惧植物種の 60%を超える種類を保全するなど、成果はめざましいものがあります。また環境省新宿御苑を中心とする種子保存も着実に進展しつつあります。しかしながら収集対象となる種が多岐にわたるため、ひとつひとつの種を長期的に保全するために必要な特性情報や育成・繁殖技術が解明されていない種がほとんどです。

こうした現状を変えるため、協会の生物多様性保全の指針「植物多様性保全 2020 年目標」のひとつに「2020 年までに日本産絶滅危惧植物種を網羅する効果的な保全手法を提示する」を掲げました。目標を達成するためにはそれぞれの種の特性情報を集約するとともに、広く技術と知見を共有し次世代に継承する仕組みを作ることが必要です。日ごろの栽培管理の中で気づいたことや調査や観察の記録をウェブ上の「メモ帳」に記録していけば、ひとつひとつの種の特性が明らかになっていくはずです。この「メモ帳」として、協会ホームページに「絶滅危惧植物保全データベース」を作成しました。小さな気づきの記録を積み重ねていけば、日本の生物多様性を守る大きな力となることを確信しています。

会員の皆様におかれましては趣旨をご理解いただき、本データベースの運用、情報提供にお力添えいただきたくお願い申し上げます。

絶滅危惧植物の特性情報の集約とデータベース化の概要

背景

- ・絶滅危惧植物の種苗の収集と種子保存は進展しているが、収集した植物の育成・繁殖技術の確立に向けた十分な取り組みは行われていない
- ・植物園における植物育成に関わる技術の開発と継承が危機的な状況に陥っている
- ・世界植物戦略 2011-2020、生物多様性国家戦略への対応が求められている

目標

- ・2020年までに日本産絶滅危惧植物種を網羅する効果的な保全手法を提示する〔2020年目標2〕
- ・日本産絶滅危惧植物種を網羅する生育特性情報の総覧を作成する
- ・大局的には、植物園の技術力を高め、存在基盤を強化する

活動の概要

- ・植物園と外部協力者が連携し絶滅危惧植物の育成・繁殖に資する特性情報を収集し、データベース化する
- ・ウェブ上で情報を入力、改訂できる仕組みを作る
- ・情報（自生地の詳細情報をのぞく）を協会ホームページで公開する

情報の主なソース

- ・文献情報からの入力
- ・入力者のオリジナルな情報の入力
- ・関係者からの聞き取り

情報提供の手順

- ・協会会員にウェブ入力用のユーザーIDとパスワードを発行する
- ・原則として1会員1ユーザーIDとする（複数のスタッフで共有）

情報入力・提供の方法

- ・原則としてウェブ上のフォームから入力（聞き取り調査情報も同様）

情報入力の体制

- ・会員園の取り組み
- ・外部の専門家の協力
- ・関係者からの聞き取り

情報収集・公開についての基本的な考え方

- ・観察記録や気付いたことのメモである（図鑑や教科書を作るものではない）
- ・失敗した事例などを記録することにも意義がある（公開されにくい情報を記録する）
- ・1つの入力シートは1つの種の1つの情報源を記録する（情報源が異なれば、同じ種の情報を複数のシートに入力することになる）
- ・入力シートの全項目を記入する必要はない（1項目のみの記入でもかまわない）
- ・複数の情報の矛盾は不問とし運営者は原則として訂正しない（読み手が情報の取捨選択をおこなう）
- ・記入者（園・団体）がすでに入力したデータを改訂するときは、上書きが可能である
- ・記入者（園・団体）名を明記する
- ・県より下位の自生地情報は非公開とするがそれ以外の記入内容、記入者（園）名は公開する
- ・公開したデータは自由に利用される

覚え書き

- ・植物名は最新の環境省レッドリストに従う
- ・過去の環境省レッドリストに掲載されたものの現在は除外された種類も含む
- ・入力対象種は日本産維管束植物の絶滅危惧種（準絶滅危惧、情報不足を含む）に限定する。環境省レッドリストに含まれていない、県などのレッドリスト掲載種を含めてもよい。

絶滅危惧植物保全データベース マニュアル

1. 利用環境

1. 1 PC・OS

1. 3に示すWebブラウザが正常に稼働するOSを搭載したパソコンで動作します。
ただし、原則としてWindowsOS(7以降)のデスクトップパソコン、またはノートパソコンでの利用を推奨とします。

1. 2 インターネット

インターネット接続が正常に行える端末から利用してください。

1. 3 Webブラウザ

本システムは以下のWebブラウザにおいて動作対象とします。

- ・Internet Explorer のバージョン8以降
- ・Mozilla Firefox の最新版
- ・Google Chrome の最新版

以下のWebブラウザは原則動作対象とするものの、一部機能において上記と異なる場合があります。

- ・Safari の最新版

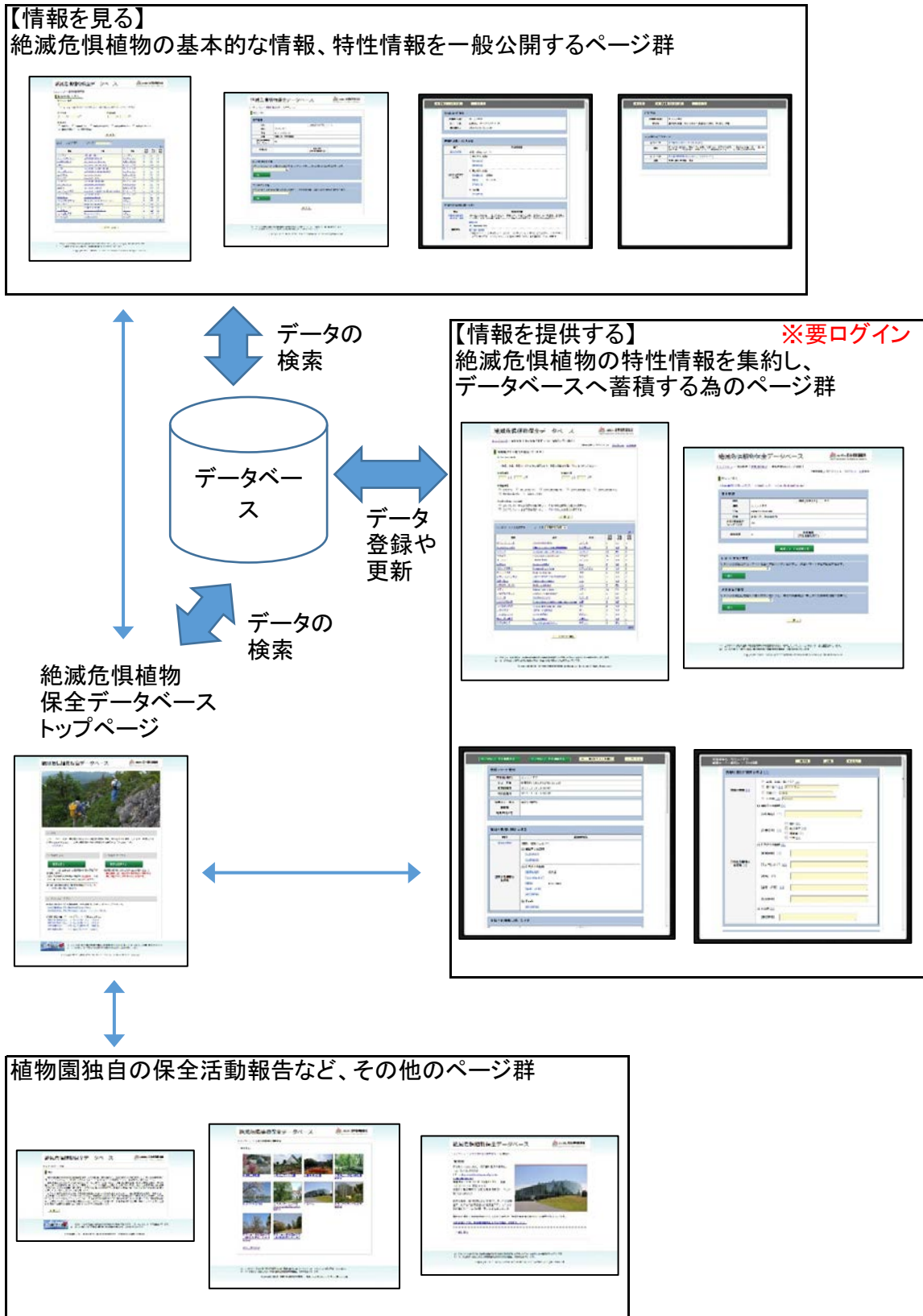
※ただしWebブラウザの種類を問わず、ブラウザソフトがバージョンアップしたタイミングなどにおいて、一部の機能が不安定になる場合があります。

■ 1. 3. 1 Javascript

WebブラウザのJavascriptが有効になっている必要があります。
以下URL等を参照し、ご利用中のWebブラウザでJavascriptを有効化してください。
<http://support.microsoft.com/gp/howtoscript/ja>

2. ページ全体構成図

本システムは大きく分けて「情報を見る」、「情報を提供する」の2つのページ群と、トップページやその他のページ群とで構成されており、それぞれのページ群はトップページのリンクボタンを介して行き来します。



3. 利用マニュアル

根幹となる「情報を見る」、「情報を提供する」の2つのページ群について、マニュアル形式で紹介します。

3.1 情報を見る

絶滅危惧植物の基本的な情報、及び各植物園から寄せられた特性情報を閲覧する方法です。

3.1.1 トップページ

トップページにある「情報を見る」ボタンをクリックします。

絶滅危惧植物保全データベース

公益社団法人 日本植物園協会
Japan Association of Botanical Gardens

○ 方針

このデータベースは、植物園をはじめとする全国の植物の保全に関わる専門家の知見や、これまでに出版された文献などをよりどころに、日本の絶滅危惧植物の特性情報を集積する「メモ帳」です。
→ [全文を見る](#)

○ 情報を見る

→ [情報を見る](#)

データベースに登録された絶滅危惧植物の特性情報を閲覧できます。
現時点での登録済の絶滅危惧植物は**2224種**、そのうち生育特性情報が寄せられた種は**473種**です。
その他の絶滅危惧植物に関する情報はこちらから。
→ [全国の植物園の活動報告](#)

○ 情報を提供する

→ [情報を提供する](#)

絶滅危惧植物に関する情報をお寄せください。
※情報提供には、特定の手続きを経て取得する専用のログインアカウントが必要です。

○ ダウンロード資料

このサイトのマニュアルのダウンロードはこちらから。
[絶滅危惧植物保全データベースマニュアル\(PDF形式\)](#)

保全ガイドラインのダウンロードはこちらから。
[絶滅危惧植物の情報の取り扱いに関するガイドライン\(Word形式\)](#)

→ 情報を見る

■3. 1. 3 生育特性情報検索ページ(検索結果)

検索結果に該当する種の一覧を表示します。
ページに初めて来た時のような、何も検索されていない状態では全ての種をリスト化します。

2221件中 21-40件を表示中					
ソート順 情報件数(降順)					
←前 次→					
和名	学名	科名	保有 園数	保全 状況	情報 件数
オキナワセッコク	Dendrobium okinawense	ラン	3	EN	2
ミスニラ	Isoetes japonica	ミスニラ	11	NT	1
イワウラシロ	Cheilanthes krameri	ホウライシダ	0	EN	1
ホソバイヌタデ	Persicaria erectominor var. trigonocarpa	タデ	3	NT	1
サイコクヌカボ	Persicaria foliosa var. nikaii	タデ	2	VU	1
ノダイオウ	Rumex longifolius	タデ	3	VU	1
エンビセンノウ	Silene wilfordii	ナデシコ	5	VU	1
テバコマンテマ	Silene yanoei	ナデシコ	1	VU	1
ハナカスラ	Aconitum ciliare	キンボウゲ	2	EN	1
キタダケソウ	Callianthemum hondoense	キンボウゲ	4	VU	1
ヒダカソウ	Callianthemum miyabeorum	キンボウゲ	2	CR	1
キリギシソウ	Callianthemum sachalinense subsp. kirigishiense	キンボウゲ	2	CR	1
シコクハンショウヅル	Clematis obvallata var. shikokiana	キンボウゲ	1	EN	1
カザグルマ	Clematis patens	キンボウゲ	19	NT	1
イトキンボウゲ	Ranunculus reptans	キンボウゲ	6	NT	1
イワカラマツ	Thalictrum sekimotoanum	キンボウゲ	1	VU	1
オゼコウホネ	Nuphar pumila var. ozeensis	スイレン	5	VU	1
タイヨウフウトウカズラ	Piper postelsianum	コショウ	5	CR	1
タマノカンアオイ	Asarum tamaense	ウマノスズクサ	10	VU	1
ツルキケマン	Corydalis ochotensis	ケシ	3	EN	1

←前 次→

← トップページへ戻る

【ソート】

件数表示右にあるプルダウンリストから、表中の項目別に昇順、または降順でリストの内容を並び替えることができます。

【次ページ、前ページ】

1ページの最大表示件数(20)を超えるリストの場合、表の右上、または右下にある「←前」「次→」のボタンでページを送ることができます。

表中で対象種の文字データいずれかをクリックすることで、その種の詳細な情報ページへと遷移します。

■3. 1. 4 種別の詳細ページ

和名や分布など、対象種の基本的な情報が表示されるエリアです。

カワラノギク			
基本情報			
科名		科名(カタカナ)	キク
和名	カワラノギク		
学名	Aster kantoensis		
分布	関東地方、静岡県東部		
2012年環境省 レッドリスト	VU		
保有園数	6	保有園数 (自生地情報あり)	-

各園から寄せられた特性情報を選択するエリアです。
プルダウンリストから特性情報のレコード(1レコード=情報提供機会1件分)を選択し、「開く」ボタンを押すことで詳細を閲覧できます。

レコード単位で閲覧

リストから投稿されたレコードを選んで開くボタンを押すと、該当レコード単位で閲覧できます。

新宿御苑 (2013/12/18 11:38) ▼

→ 開く

→ 印刷用ページを開く × 閉じる

投稿レコード情報

対象種(和名)	カワラノギク
レコード名	新宿御苑 (2013/12/18 11:38)
最終更新日	2013-12-18 11:38:47

情報の属性に関する項目

項目	登録済情報
情報の種類	観察、経験にもとづく
記録する植物の 生育地	1) 栽培下での記録 【栽培地名】 【栽培環境】
	2) 自生地での記録 【都道府県】 栃木県 【標高】 175~190 【特記事項】
	3) その他 【特記事項】

生物学的特性に関する項目

項目	登録済情報
自生地の無極的 (物理的) 環境	河岸段丘の砂礫地。日当たりは全天。斜度は3°。斜面方位は南。土壌はシルト質土壌。土壌水分はやや乾。土色は灰褐色。粒度はシルト~細細粒砂を主体とし、より粗大な砂礫が交る。
植物群落	植物群系 河川敷砂礫地植生 優占種や構成種 共存種メドハギ、カラメドハギ、ススキ、カワラハハコ、シナダレスズメガヤ、コゴメヤナギ、メマツヨイグサ、テリハノイバラ、ヒロードモウズイカ、ミヤコグサ、カワラヨモギ

縦に長いページなので、下の方に隠れている情報は右のスクロールバーで表示してください。

項目	登録済情報
自生地の微機微的(物理的)環境	河岸段丘の砂礫地。日当たりは全天。斜度は3°。斜面方位は南。土壌はシルト質土壌。土壌水分はやや乾。土色は灰褐色。粒度はシルト～極細粒砂を主体とし、より粗大な砂礫が交る。
植物群落	植物群落 河川敷砂礫地陸生 優占種や構成種 共伴種メドハギ、カラメドハギ、ススキ、カワラハハコ、シナダレスズメガヤ、ココメヤナギ、メマツヨイグサ、テリハノイバラ、ピロトモウズイカ、ミヤコグサ、カワラヨモギ
生育立地	地生 【特記事項】
生育形	【特記事項】
寄生性	独立栄養 【特記事項】
雌雄性	【特記事項】
送粉様式	【特記事項】
生活環	【特記事項】
生物季節	【展葉期】 【開花期】 【結実期】 2011/11/28で結実期であった。 【落葉期】
果実および種子の特性	果実の類型 【特記事項】 果実あるいは種子の散布様式 果実および種子の数量 【個体あたりの果実数】 7.6452441

【印刷用ページを開く】

同じ情報を印刷に適した別ウィンドウに開きます。

※印刷調整は各ブラウザによって異なりますので、利用環境に合わせて設定してください。

【閉じる】

種別の詳細ページへ戻ります。

※各項目の扱いや意味については、「項目説明」のページを参照してください。

各園から寄せられた特性情報を、レコード単位ではなく項目単位で閲覧できます。プルダウンリストから項目を選んで「開く」ボタンを押すことで、該当項目に対して寄せられた情報をまとめて閲覧することができます。

項目単位で閲覧

リストから項目名を選んで開くボタンを押すと、本種の該当項目に寄せられた情報を閲覧できます。

自生地が無機質的(物理的)環境

→ 開く

戻る 印刷用ページを開く 閉じる

対象項目

対象種(和名)	カワラノギク
項目名	生物学的特性に関する項目 > 自生地の無機質的(物理的)環境

入力済の全てのデータ

レコード名	新宿御苑 (2013/12/18 11:38)
内容	河岸段丘の砂礫地。日当たりは全天。斜度は3°。斜面方位は南。土壌はシルト質土壌。土壌水分はやや乾。土色は灰褐色。粒度はシルト～極細粒砂を主体とし、より粗大な砂礫が交る。
レコード名	東京都神代植物公園 (2013/12/15 14:39)
内容	玉石の転がる河川中流域

レコード単位での閲覧と項目単位での閲覧は、ページ内の青太字リンクをクリックすることで、互いに行き来することができます。

項目単位の閲覧ページからレコード名をクリック

入力済の全てのデータ

レコード名	新宿御苑 (2013/12/18 11:38)
内容	河岸段丘の砂礫地。日当たりは全天。斜度は3°。斜面方位は南。土壌はシルト質土壌。土壌水分はやや乾。土色は灰褐色。粒度はシルト～極細粒砂を主体とし、より粗大な砂礫が交る。
レコード名	東京都神代植物公園 (2013/12/15 14:39)
内容	玉石の転がる河川中流域

レコード単位の閲覧ページから項目名(青字のもののみ)をクリック

情報の属性に関する項目

項目	登録済情報
情報の種類	観察、経験にもとづく
1 栽培下での記録	<p>【栽培地名】 神代植物公園 植物多様性センター栽培温室、学習園植栽</p> <p>【栽培環境】</p>



3.2 情報を提供する

絶滅危惧植物の基本的な情報、及び各植物園から寄せられた特性情報を閲覧する方法です。

■3.2.1 トップページ

トップページにある「情報を提供する」ボタンをクリックします。

絶滅危惧植物保全データベース



○ 方針

このデータベースは、植物園をはじめとする全国の植物の保全に関わる専門家の知見や、これまでに出版された文献などをよりどころに、日本の絶滅危惧植物の特性情報を集積する「メモ帳」です。
→ [全文を見る](#)

○ 情報を見る

→ [情報を見る](#)

データベースに登録された絶滅危惧植物の特性情報を閲覧できます。
現時点での登録済の絶滅危惧植物は**2224種**、そのうち生育特性情報が寄せられた種は**473種**です。

その他の絶滅危惧植物に関する情報はこちらから。
→ [全国の植物園の活動報告](#)

○ 情報を提供する

→ [情報を提供する](#)

絶滅危惧植物に関する情報をお寄せください。
※情報提供には、**特定の手続きを経て取得する専用のログインアカウント**が必要です。

○ ダウンロード資料

このサイトのマニュアルのダウンロードはこちらから。
[絶滅危惧植物保全データベースマニュアル\(PDF形式\)](#)

保全ガイドラインのダウンロードはこちらから。
[絶滅危惧植物の情報の取り扱いに関するガイドライン\(Word形式\)](#)

→ 情報を提供する

■3. 2. 2 注意事項

ログインしていない状態で「情報を提供する」ボタンを押すと、以下の注意事項が表示されます。閲覧し、同意の上でログインページへと進んでください。

情報提供の際の注意事項

- 特性情報の入力～投稿までの流れ
 - (1) ログインページにてテストログイン用IDとパスワードを入力して、ログインしてください。
 - (2) ログイン後の画面にて提供頂く種を検索して指定し、その種の詳細ページへ進んでください。
 - (3) 対象種の詳細ページから「新規レコードを投稿する」ボタンを押し、入力用画面を開いてください。
 - (4) 入力画面で情報を入力してください。
多数の項目がありますが、全ての項目に入力して頂く必要はありません。
 - (5) **入力後は必ず「一時保存」か「投稿」ボタンを押し、データを保存してください。**
- 注意事項など
 - ・提供頂いた情報は「投稿」で保存した後、システム管理上の処理を経た後に全体へ公開されます。ただし種の保全活動上問題とみなされた情報がある場合など、公開が行われない場合もあります。また、処理には数日から数週間かかる場合もあります。あらかじめご了承ください。
 - ・「一時保存」「投稿」どちらによってデータを保存しても、保存済みのレコードはいつでも修正可能です。ただし、一度「投稿」の後に全体公開された情報を編集した場合は一旦非公開となり、再度システム管理上の処理を経てから全体公開となります。

⇒ トップへ戻る ⇒ ログインページへ

■3. 2. 3 ログイン

原則各園、団体に1つずつ発行されたユーザーID、パスワードを入力した後、ログインボタンを押してください。

ログインしてください

ユーザーID

パスワード

⇒ キャンセル ⇒ ログイン

【ログイン状態について】

- ・ログイン状態では、トップページから「情報を提供する」ボタンを押すと以下の対象種を検索・指定するページへ直接リンクし、注意事項やログイン画面は現れません。
- ・ログイン後は、「情報を見る」「情報を提供する」以下のページにて、画面右上に以下のようなログイン情報、ログアウトボタン、注意事項(3. 2.2と同じもの)、入力用シートのダウンロードボタンが表示されます。

『新宿御苑』でログイン中 ログアウト 注意事項 入力用シート

- ・ログアウトボタンはありますが、通常閲覧や作業を終了する際、明示的にログアウトをする必要はありません。ブラウザを閉じるだけで、ログアウトしたと同じ扱いになります。
- ・入力用シートについては、「■3. 2. 8 入力用シートについて」を参照ください。

■3. 2. 4 情報提供＞対象種の指定

情報提供する種を指定するページです。

利用方法は、以下に示す【投稿者情報からの検索】機能を除き、「情報を見る」側と同じです。

「■3. 1. 2 生育特性情報検索ページ(検索条件指定)」及び

「■3. 1. 3 生育特性情報検索ページ(検索結果)」を参照ください。

情報提供する植物を指定してください

▶キーワード検索

※和名、学名、科名のいずれかから検索します。科名の場合は末尾に「科」をつけてください。

▶保有国数 以上 以下 ▶情報件数 以上 以下

▶保全状況
 絶滅(EX) 野生絶滅(EW) 絶滅危惧IA類(CR) 絶滅危惧IB類(EN) 絶滅危惧II類(VU)
 準絶滅危惧(NT) 情報不足(DD)
 地方版レッドデータリストにのみ掲載あり(他の保全状況の検索条件は無視されます)

▶投稿者情報からの検索
 このユーザーによって投稿された特性情報レコードが1件以上ある種のみ表示する
 このユーザーによって一時保存されたレコードが1件以上ある種のみ表示する

→ 検索

【投稿者情報からの検索】

- ・「情報を提供する」側にのみ存在する抽出機能です。
- ・上のチェックボックスにチェックが入った状態だと、ログインしたユーザーから投稿された特性情報レコードが1件以上存在する種のみを抽出対象とします。
- ・下は、ログインしたユーザーが一時保存したレコードが1件以上存在する種のみ抽出します。
- ・両方指定することもできます。(投稿済か一時保存かを問わなくなる)

■3. 2. 5 種別の詳細ページ

種別の詳細ページの閲覧可能情報、及び投稿済特性情報の閲覧に関しては

「■3. 1. 4 種別の詳細ページ」とほぼ同じなので、利用方法はそちらを参照してください。

■3. 2. 6 特性情報の新規投稿

「■3. 2. 5 種別の詳細ページ」の「基本情報」の下に以下のボタンがあるので、クリックすると、特性情報の入力ウィンドウが開きます。



特性情報入力ウィンドウ

対象種和名: カワラノギク
編集モード: 新規レコードの投稿

一時保存 投稿 キャンセル

情報の属性に関する項目 [?]

情報の種類 [?]
※必ずどれか1つ以上選択してください。

観察、経験にもとづく [?]
 聞き取り [?] 情報提供者名
※情報提供者名の公開/非公開設定 非公開 公開
 文献 [?] 文献名
 その他 [?] 特記事項 [!既存データ]

記録する植物の生育地 [?]
※栽培下での記録の場合【栽培地名】を、自生地での記録の場合【都道府県】を、このどちらかは必ず入力してください。

1) 栽培下での記録 [?]
【栽培地名】 [?] [!既存データ]
※詳細がわからない場合は「詳細不明」と記載してください。
 屋外 [?]
【栽培環境】 [?]
 無加温室 [?]
 加温室 [?]
 不明 [?]

2) 自生地での記録 [?] ※都道府県、標高、特記事項以外の項目は公開されません。
【都道府県】 [?] [!既存データ]
【市町村名以下】 [?]
【標高】 [?] [!既存データ]
【緯度・経度】 [?]
【特記事項】

3) その他 [?]
【特記事項】

入力フォームに従って、提供可能な情報の項目だけ入力・選択してください。
縦に長いページなので、下の方に隠れている情報は右のスクロールバーで表示してください。

必須入力項目は以下の通りです。

- ・「情報の属性に関する項目 > 情報の種類」のうちどれか1つを選択。
(追記欄の入力は任意)
- ・「情報の属性に関する項目 > 記録する植物の生育地 > 1) 栽培下での記録 > 栽培地名」
または
「情報の属性に関する項目 > 記録する植物の生育地 > 2) 自生地での記録 > 都道府県」
のうち、いずれか片方への入力。

各入力項目や表記の脇にある青字の「？」の上にマウスを載せると、説明を参照できます。

1) 栽培下での記録 [?]

【栽培地名】 [?]

1) 栽培下での記録 [?]

特性情報が栽培個体にもとづく場合。

同じく「[入力例]」の上にマウスを載せると、入力例を参照することができます。

【展葉期】 [?] [入力例]

【開花期】 [?] [入力例]

【展葉期】 [?] [入力例]

【開花期】 [?] [入力例]

6月～12月まで着葉するが個体によるばらつきが大きい

「[既存データ]」は、該当の種の該当項目に寄せられた既存データを参照できます。
 (そのようなデータが無い場合はこのマーク自体が表示されません。)

植物群系 [?] [入力例] [既存データ]

植物群落 [?] 偏占種や構成種 [?] [入力例] [既存データ]

生育立地 [?] 地生 [?] [入力例] [既存データ]

生育形 [?] 特記事項 [?] [入力例] [既存データ]

独立栄養

他のレコードによって入力済の既存データを参照する場合はクリック

閉じる

生物学的特性に関する項目 > 植物群落 > 植物群系

レコード名	新宿御苑 (2013/12/18 11:38)
内容	河川敷砂礫地植生
レコード名	東京都神代植物公園 (2013/12/15 14:39)
内容	アシなど大型の草本が入り込まない裸地に近い沼藪原

入力が完了したら、入力ウィンドウ上部にある「一時保存」「投稿」のいずれかを押して、データを保存してください。

対象種和名：カワラノギク 編集モード：新規レコードの投稿	一時保存	投稿	キャンセル
---------------------------------	------	----	-------

【一時保存】

データベースに入力情報が保存されますが、他の利用者からは閲覧不能な状態です。入力途中でまだ公開したくない場合などに利用してください。

【投稿】

データベースに入力情報が保存され、他の利用者からも閲覧可能な状態となります。

※ただし、全体に公開されるまではシステム管理上の処理を経る為、数日かかる場合があります。

※絶滅危惧植物の保護観念上問題とみなされた情報がある場合など、入力情報によっては非公開とするケースもあります。予めご了承ください。

【キャンセル】

特性情報の入力をとりやめます。その時に入力ウィンドウを開いてから入力・選択した情報は喪失してしまうので、注意してください。

■3. 2. 7 投稿した情報の確認と編集、削除

「■3. 2. 6 特性情報の新規投稿」にて「一時保存」または「投稿」のいずれかを押してデータベースに情報を保存したデータは、「種別の詳細ページ」の「レコード単位で閲覧」のプルダウンに新しいレコードが追加されます。

レコード単位で閲覧
リストから投稿されたレコードを選んで開くボタンを押すと、該当レコード単位で閲覧できます。
<input type="text" value="-----"/>
<input type="text" value="新宿御苑 (2013/12/18 11:38)"/>
<input type="text" value="東京都神代植物公園 (2013/12/15 14:39)"/>

【レコード名について】

レコード名は、「ログインしたユーザーの所属名称」+「初めて投稿ボタンを押した日時」という命名規則で自動的に付与されます。

入力したレコードを選択して「開く」を押すと、以下のようにレコード詳細情報が開きます。

投稿レコード情報	
対象種(和名)	カワラノギク
レコード名	新宿御苑 (2013/12/18 11:38)
初回投稿日	2013-12-18 11:38:47
最終更新日	2013-12-18 11:38:47
保存ステータス	投稿(公開中)
編集者	
編集者用メモ	

情報の属性に関する項目	
項目	登録済情報
情報の種類	観察、経験にもとづく
記録する植物の生育地	1) 栽培下での記録 【栽培地名】 【栽培環境】
	2) 自生地での記録 【都道府県】 栃木県 【市町村名以下】 【標高】 175~190 【緯度・経度】 【特記事項】
	3) その他 【特記事項】

生物学的特性に関する項目	
--------------	--

自園から入力したレコードの場合のみ、ウィンドウ上部に「このレコードを編集する」「このレコードを削除する」のボタンが表示されます。

【このレコードを編集する】

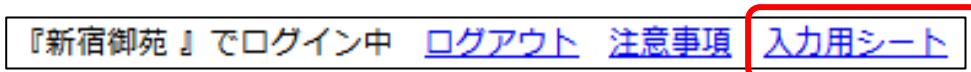
投稿済レコードの内容を編集します。編集方法は新規投稿時と同じです。

【このレコードを削除する】

レコード単位で情報を削除します。実行すると復元不可能な為、ご注意ください。

■3. 2. 8 入力用シートについて

ログイン後のページ右上に、「入力用シート」というボタンが表示されます。



クリックすると、以下のようなExcelファイルがダウンロードされます。
これは「■3. 2. 6 特性情報の新規投稿」などでご紹介した、特性情報の入力項目をExcelシートに再現したものです。



このファイルの用途は、
「特性情報レコードのWeb入力を行う前に、一旦紙媒体で情報収集する必要がある場合」
にお使い頂く場合を想定したものです。

例えば、本サイトのユーザーID保持者が、ユーザーIDを保持しない第三者から提供された情報を、「第三者から聞き取った情報」として本サイトへ投稿するようなケースです。
そのようなケースで、情報提供を受ける際にネットワークに接続したパソコンを準備できない場合、このExcelファイルをあらかじめダウンロードして印刷し、記録用紙としてお使いください。

ただし、あくまで「ユーザーID保持者によるWeb入力を行う前の一時的な記録媒体」とお考えください。
本サイト管理者は、情報を記載した用紙や、Excelへ直接記載して保存されたファイルを直接ご送付頂いても、対応できません。あらかじめご了承ください。

絶滅危惧植物保全データベース F A Q (Frequently Asked Questions)

	分類	質問事項	対処事項
1	利用	自分で入力した情報のみを閲覧したいのですが、どのようにすればできますか？	まず、ログインしてください。ログイン後に表示される『情報提供』画面の「このユーザーから公開済の特性情報レコードを1件以上投稿した種のみ表示する」にチェックを入れ、「検索」をクリックするとログインしたIDで入力した植物種がリストとして表示されます。
2	利用	このデータベースはどのように活用されるのでしょうか？	多くの方に閲覧いただき、希少植物の保全に関わる活動に利用されます。
3	利用	入力したレコードはすぐに公開されてしまうのでしょうか？	入力画面で「投稿」ボタンをクリックされ、スクリーニングが完了したものは公開されます。入力画面の「一時保存」ボタンをクリックした状態では公開されません。
4	利用	データベースの内容を研究目的で利用したいと思います。引用などは可能ですか？	可能です。その際、出典を明記してください。
5	利用	データベースの内容を出版物に利用したいと思います。どのような手続きが必要ですか？	電子メール (hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp) にてお問い合わせください。
6	利用	データベースの内容には、正反対の内容が記載されているものがあります。どちらが正しいのでしょうか？	データベースの情報源は、入力者や第三者の経験、文献の引用などであり、これらの情報に正否は関係ありません。閲覧者がデータベースの情報をもとに判断することになります。
7	利用	データベースの内容についてもっと詳しく知りたいので、入力者の連絡先を知りたいのですが？	データベース入力者の個人情報をお教えすることはできません。
8	利用	データベースに入力できるのは、どのような人ですか？	ログインIDとパスワードは植物多様性保全拠点園のほか、申請を受け、協会会員（園）にのみ発行されます。協会会員（園）の責任において入力をお願いします。
9	利用	ログインIDとパスワードは誰でも申請し取得できるのですか？	ログインIDとパスワードは植物園協会会員（園）に対して発行されます。
10	利用	検索は、和名のみですか？	和名（カタカナ）、学名、科名（カタカナ）のいずれかから検索できます。科名の場合は末尾に「科」をつけてください。
11	利用	当園で入力したレコードの総数を知ることができますか？また、当園の年次報告書に実績として記載したいのですが、可能でしょうか？	まず、ログインしてください。ログイン後に表示される『情報提供』画面の「このユーザーから公開済の特性情報レコードを1件以上投稿した種のみ表示する」にチェックを入れ、「検索」をクリックしてください。表示されたリストの「情報件数」の欄を数えてください。それがレコードの総数です。 なお、リストの左上に表示される「〇件中」というのはレコードが入力されている植物種の数を示しています。
12	利用	データベースの内容をエクセルデータでいただきたいのですが、可能ですか？	できません。
13	利用	どの植物園も保有していない植物種を検索したいのですが？	トップページの「情報を見る」をクリックし、『生育特性情報検索』のページに表示される「ソート順」で「保有園数（昇順）」を選択すると、保有園数の少ない種から表示されます。
14	利用	入力した項目はすべて公開されるのですか？	日本植物園協会の「絶滅危惧植物の情報の取り扱いに関するガイドライン」に従って、「市町村名以下」と「緯度・経度」の項目は非公開となります。ただしこれらのデータが保全や研究に真に必要な場合は、植物多様性保全委員会での審査を経て開示する場合があります。また、「記入者名」と「編集者用メモ」も非公開項目です。

絶滅危惧植物保全データベース F A Q (Frequently Asked Questions)

	分類	質問事項	対処事項
15	入力	栽培下での情報と自生地での情報をまとめて一つのレコードにしても良いでしょうか？	まず、対象となる植物が同一で、かつ情報源が同一（つまり「情報の種類」の項目が同一）であることが必要です。これを満たせば一つのレコードにまとめても問題ありません。
16	入力	ささいな情報ですが、一つのレコードとして入力して良いのでしょうか？	もちろんOKです。このデータベースはいわば「メモ」ですので、情報の大小や質にかかわらず、集積していくことを目的としています。
17	入力	生息域外保全(ex situ)として植物園内の林床に地植えて育成しています。どの項目にこのことを記載すれば良いですか？	「情報の属性に関する項目」>「記録する植物の生育地」>「栽培下での記録」>「栽培地名」に生息域外保全であることを記載するとよいでしょう。
18	入力	雨よけのため、栽培している植物を屋根のある場所で栽培しています。「栽培環境」の項目の「屋外」になりますか？	雨よけ目的のみの屋根の場合、「屋外」と判断して良いでしょう。側面（壁）の部分も覆われている場合は「無加温室」といえるでしょう。
19	入力	栽培している植物の環境が、夏季は屋外で冬季は加温室に入れて栽培しています。どのように入力すれば良いですか？	「情報の属性に関する項目」>「記録する植物の生育地」>「栽培下での記録」>「栽培環境」で、「屋外」と「加温室」の2つにチェックを入れてください。加温室に出し入れするタイミングなどの情報は「栽培特性に関する項目」のなかに入力するとよいでしょう。
20	入力	「情報の種類」の項目の選択肢が（「観察、経験にもとづく」「聞き取り」「文献」など）複数選択可能ですが、複数を選択した場合、入力した情報がどちらに由来するか分からなくなりますか？	これは、複数の情報源から入力する必要があると想定されたため、複数選択が可能になっています。各情報源別に分けて入力できる場合は、レコードをそれぞれ分けて作るほうが良いでしょう。
21	入力	栽培している植物の産地についてはどこに記入すれば良いですか？	「情報の属性に関する項目」>「記録する植物の生育地」>「自生地での記録」に記入してください。ただし、自生地から採集された植物を栽培している場合のみ該当します。つまり、自生地と異なる産地の植物を栽培している場合は、一つのレコードにまとめて入力することはできません。
22	入力	自生地での病虫害、食害などの項目がありません。	「自生地の現状と希少性に関する項目」>「自生集団の現状」>「減少傾向にある場合、推定される原因」の項目に入力すると良いでしょう。
23	入力	入力方法はウェブ上だけですか？	ウェブ上でのみ可能です。閲覧もウェブ上でのみ可能です。
24	入力	データベース上で検索できない植物種の情報を入力できますか？	環境省レッドリストの掲載種のみ情報提供ページを作成していますが、都道府県等地方自治体のレッドリストの掲載種も入力の対象としています。これらの種を入力する場合は、入力用シートをダウンロードして必要事項を記入し、データベース運営者にメール(hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp)でお送りください。上述した種以外は入力対象外となりますのでご了承ください。
25	入力	入力された情報をデータベース管理者がチェックする（スクリーニングする）ということですが、ということですか？	入力いただいた情報のうち、公開される項目について、自生地が具体的に把握できてしまうような情報が含まれていないかどうかを管理者が確認することをスクリーニングと言います。この作業を経て承認された情報が公開となります。植物種や自生地の保全のために重要な確認作業です。
26	入力	入力項目のうち、非公開の項目があります。非公開であれば入力する必要が無いのではないのでしょうか？	研究等の目的でデータベースの開示請求があった場合、その理由が妥当であると植物園協会が判断した場合に、非公開情報も含めたデータが提供される場合があります。

絶滅危惧植物保全データベース F A Q (Frequently Asked Questions)

	分類	質問事項	対処事項
27	入力	投稿したレコードの一部が変更もしくは削除されていました。何が起きたのですか？	スクリーニングが実行されたためです。管理者によって入力内容を確認し、自生地が特定されるような情報については、変更もしくは削除する措置がとられることがあります。
28	入力	自生地が都府県境でまたがる場合は、どのように入力すればいいですか？	自生地が特定されることを防ぐために、どれか1つの都府県名を選択してください。文献から情報を入力する場合は、都道府県の選択リストから「その他」を選択し、隣の特記事項入力欄に複数の都道府県を入力できます。
29	入力	協会会員以外の第三者から情報を提供してもらって、入力したいのですが？	協会会員（園）が「入力用シート」等を活用して第三者（情報提供者）から情報の記入依頼、あるいは聞き取りを行ってください。その後、協会会員（園）が本データベースの「情報提供ページ」にログインして情報を入力します。この場合「情報の種類」は「聞き取り」をチェックし、情報提供者名を入力して、情報提供者名の公開か非公開かを選択します。日本植物園協会事務局では入力を行っていません。
30	システム	ログイン方法がわかりません。	『トップページ』の「情報を提供する」ボタンをクリック＞『注意事項』ページの「ログインページへ」ボタンをクリック＞『ログイン』ページの「ユーザーID」と「パスワード」を入力後、「ログイン」ボタンをクリックしてください。
31	システム	パスワードを忘れてしまいました。	メール (hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp)にてお問い合わせください。回答までに数日必要になる場合があります。
32	システム	担当者が変わります。パスワードの再発行をお願いしたいのですが？	メール (hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp)にてお問い合わせください。回答までに数日必要になる場合があります。
33	システム	ログインIDとパスワードの申請はどのようにすればできますか？	メール (hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp)にてお問い合わせください。回答までに数日必要になる場合があります。なお、簡単な確認書類等をあわせてご提出いただく場合があります。
34	システム	このデータベースの管理者はどこですか？	公益社団法人日本植物園協会の「絶滅危惧植物保全データベース分科会」です。
35	システム	問い合わせをしたいのですが？	本データベースの入力や閲覧の方法、利用についての問い合わせは電子メール (hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp)にて受け付けます。データの内容や植物の情報（自生地など）についての問い合わせは受け付けておりませんのでご了承ください。
36	システム	ログインできません。	ユーザーIDとパスワードが正しく入力されているかご確認ください。それでもログインできない場合は、メール (hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp)にお問い合わせください。回答までに数日必要になる場合があります。
37	支援	レコードを入力するためには、組織の決裁が必要ですが…	それぞれの種の入力ページには「一時保存」という機能があります。これを活用することで、入力後のレコードを印刷して稟議し、決裁後に一時保存したレコードを投稿することができます。その一例を次に紹介します。 1) 一つの種について情報を入力し、「一時保存」をクリック 2) 「レコード単位で閲覧」から自身のレコードを選んで表示 3) 「印刷用ページ」をクリックし、表示されたページを印刷 4) 稟議書類に添付し、決裁を得る 5) 決裁後、ログイン後に表示される『情報提供』画面の「このユーザーによる一時保存中のレコードが1件以上ある種のみ表示する」にチェックを入れ、「検索」をクリック。「一時保存」したレコードを呼び出して「投稿」ボタンをクリックする。
38	支援	聞き取り調査を効率良く進める方法はありますか？	第三者に聞き取って情報を入力する場合、必ずしも「入力用シート」を使う必要はありません。パソコン等の端末があり、インターネットに接続できる環境で聞き取りができる場合、「情報提供ページ」を開いて聞き取りを行いながら情報を入力できます。

絶滅危惧植物保全データベース 項目説明

カテゴリ	大項目	中項目	小項目	選択肢	説明（入力ガイド）	
情報の属性に関する項目	情報の種類				どのような情報であるか、情報源や情報そのものを説明するための項目。	
					情報源を下記より選択する。	
				<input type="checkbox"/> 観察、経験にもとづく	情報源が、入力者自身の経験による調査、採集、栽培等の記録および考察である場合。	
				<input type="checkbox"/> 聞き取り	情報源が、入力者ではない第三者の経験や考察の場合。	
				<input type="checkbox"/> 文献	情報源が、文献からの引用もしくは要約である場合。	
		<input type="checkbox"/> その他	上記以外の情報源である場合。			
	記録する植物の生育地					情報提供する植物について、その生育している場所を指定する。
					栽培下での記録	特性情報が栽培個体にもとづく場合。
					栽培地名	栽培している場所。都道府県や植物園の名称など。
					栽培環境	下記より選択する。
					<input type="checkbox"/> 屋外	屋外にて栽培されている場合。露地植えの場合も該当する。
					<input type="checkbox"/> 無加温室	ビニルハウスなどの中で栽培されているが、暖房などの熱源を利用しない場合。
					<input type="checkbox"/> 加温室	ビニルハウスなどの中で栽培され暖房などで加温している場合。
					<input type="checkbox"/> 不明	不明な場合。
					自生地での記録	特性情報が植物の自生地での観察にもとづく場合。
					都道府県	自生地の都道府県を入力。
					市町村名以下	《非公開》可能な限り入力。
標高					標高データがあれば入力。	
緯度・経度	《非公開》GPSデータなどがあれば入力。					
その他	上記に該当しない情報などを入力。					
生物学的特性に関する項目					対象としている植物について、観察から得られた生物学的な特性を記載する項目。	
				自生地の無機的（物理的）環境	気候、地形、土壌、光、温度、湿度など自生地の環境の特徴を記載する。	
				植物群落	自生地で生育する植物の特性を記載する。	
				植物群系	常緑広葉樹林やスギ植林の林床などといった情報を記載。	
				優占種や構成種	植生で優占する植物種や、その他構成している植物種を具体的に記載。	
				生育立地	【自動入力】地生、着生、水生、湿生など。	
				生育形	【自動入力】高木、つる、草本など、地上部の形態について記載。ロゼット、塊茎、鱗茎など休眠時の形態などもここに記載。	
				寄生性	【自動入力】寄生性がある場合、植物寄生、菌寄生のいずれかを記入する。宿主が特定されていれば具体的に記載する。	
				雌雄性	【自動入力】雌雄同株、雌雄異株、性転換などの雌雄性に関する特徴を記載。	
				送粉様式	花粉（塊）を送る方法について記載する。	
				<input type="checkbox"/> 風媒	風によって花粉が運ばれる場合。	
<input type="checkbox"/> 動物媒	昆虫、鳥などの動物によって花粉が運ばれる場合。					
<input type="checkbox"/> その他	自家受粉、無融合生殖、水媒など上記以外の方法で送粉される場合、特記する。					

カテゴリ	大項目	中項目	小項目	選択肢	説明（入力ガイド）
	生活環				【自動入力】多年生、一年生、一稔性など。
	生物季節				生育ステージの時期を記載する。
			展葉期		○月～○月などと記載する。
			開花期		
			結実期		
			落葉期		
	果実および種子の特性				果実、種子の形態、散布などの特徴を記載する。
	果実の類型				【自動入力】液果、乾果、さく果、穎果、そう果、翼果など。
	果実あるいは種子の散布様式				種子の散布方法について、下記から選択する。
			<input type="checkbox"/> 風散布		風で散布される場合。
			<input type="checkbox"/> 重力散布		そのまま下に落下する散布様式の場合。
			<input type="checkbox"/> 動物散布		昆虫や他の動物が介在して散布される場合。
			<input type="checkbox"/> その他		自動散布や水散布など、上記以外や特記する内容がある場合。
	果実および種子の数量				果実と種子の特徴について記載する。
			個体あたりの果実数		一植物個体あたりに得られる果実数。
			結果率		個体あたりで開花した花のうち結実した花の割合を示す。
			果実あたりの種子数		一果実の中に含まれる種子数を記載する。
	その他、生物学的特性に関する事項				上記のいずれにも該当しない生物学的特性に関する情報について記載する。
栽培特性に関する項目					栽培植物に関する情報を具体的に入力。
	光、温度、湿度など栽培環境				遮光、目標とする温度・湿度、耐寒性・耐暑性などの情報を入力。地植えの場合は周囲の植栽環境なども入力。
	用土				植え込み用土、鉢の種類、地植えの場合は土壌の情報など。
	灌水				灌水の頻度、目安など。使用している水の状態（井戸水、水道水、雨水）なども。
	肥料				肥料の種類、施肥の時期や量など。
	病虫害				発生する病虫害の種類、時期、防除方法など。
	栄養繁殖に関する特性				栄養繁殖の方法、使用器具、材料の状態、用土、養生環境など。
	栽培に関わる全般的な事項				上記に該当しない情報を記載する。
	採種に関する特性				採種の時期や量、注意点などを記載。
	種子・胞子の保存に関する特性				保存に必要な条件（乾燥、湿潤などの）、もしくは寿命など保存に関連する情報を記載。
	種子・胞子の発芽に関する特性				種子を発芽させるために必要な処理や用土、資材などの情報をまとめて記載する。さらに、発芽抑制物質の存在、その除去方法、好光性など具体的に記載する。
自生地の現状と希少性に関する項目					自生地環境と植物集団の置かれている状況について記載する。
	自生集団の現状				
			数量		自生集団の数、個体数など。
			減少傾向にある場合、推定される原因		集団が減少している場合の原因を記載。過去に減少していた場合もその原因を記載。
			保護状態その他		自生集団の保護の有無、方法や保護に関わる組織などの情報もまとめて記載。
記入者名					《非公開》複数人でデータベースに入力している場合、効率的な作業に役立つ項目。
編集メモ					《非公開》入力の進捗状況などを記録しておくためのメモ項目。

絶滅危惧植物保全データベースについて

■データベースの管理等

○絶滅危惧植物保全データベースは、日本植物園協会に設置した「絶滅危惧植物保全データベース分科会」が管理します。

○質問や連絡については、すべて下記メールアドレス宛にお送りください。すぐには回答できないことがありますので、ご了承ください。

hozendb@syokubutsuen-kyokai.jp

(以下、この章では「保全DBメールアドレス」と呼びます)

■ユーザーIDとパスワード

○日本植物園協会会員(園)に原則として1会員(1園)につき、一つのユーザーIDとパスワードを発行します。

○分園等がある場合、複数施設を管理する場合は、1施設につき、一つのユーザーIDとパスワードを発行します。

○ユーザーIDとパスワードの変更や再発行が必要な場合は、保全DBメールアドレス宛にご連絡ください。新しいユーザーIDとパスワードの発行には数日かかります。

■著作権

○絶滅危惧植物保全データベースの著作権は、公益社団法人日本植物園協会に帰属しています。

○研究目的等での利用、引用の場合は、出典を明記してください。

■入力内容・注意点

○データベースの項目(対象種)に挙げた植物は、原則として環境省の第4次レッドリストに従っています。また、過去の環境省レッドリストに掲載されたが現在は除外された植物種も含まれています。

○このデータベースで検索できない植物種に関する情報を入力したい場合、各都道府県別のレッドリスト掲載種に限り項目を増やすことができます。保全の緊急性が高い場合は、保全DBメールアドレス宛にご相談ください。対応を検討します。

○「記録する植物の生育地」の入力欄を除いて、絶滅危惧植物の生息地が特定できる表現(地名等)は、絶対に入力しないでください。

○「情報の種類」について、「文献」や「聞き取り」にチェックが入っていない場合、入力された情報は、原則として入力者のオリジナルな情報として取り扱います。

○「文献」や情報提供者からの「聞き取り」など、二次的に得た情報の場合は、そのソース(情報源・文献名・情報提供者名等)を記載してください。

○非公開としている項目でも、研究・保全等の目的で開示申請に対して、開示が妥当と判断した場合は情報開示の申請者に情報を提供することがあります。ただし、植物の自生する場所が特定される情報をむやみに開示することはありません。

■データの公開

- 自生地情報を除いて、基本的に提供された情報は公開する方針です。投稿されたデータは公開が前提になっているため、入力内容には十分に注意してください。
- 入力されたレコードは「投稿」後、絶滅危惧植物保全データベース分科会によるスクリーニングを経てから、閲覧できる状態にします。
- スクリーニングでは、自生地を特定できる表現がないか、地名などがうっかり書かれていないかなどをチェックします。
- スクリーニングの際に、「生物学的特性に関する項目、栽培特性に関する項目」などに、その植物の生息地がわかる具体的な表現（地名など）が含まれている場合は、その表現を削除してレコードを公開します。なお、削除した旨は入力者に通知しません。
- スクリーニング中でまだ公開されていない場合は、「投稿レコード情報」欄の「保存ステータス」に【投稿（管理者承認待ち）】という表示が出ます。
- 「絶滅危惧植物の情報の取り扱いに関するガイドライン」に従って、自生する都道府県まで公開します。自生する都道府県も明らかにしたくない場合は、記入しないでください。
- 記入者（園名等）は自動的にレコード名の一部となるため、原則として公開される仕組みとなっています。

■一時保存・「その他の情報」欄の使い方

<投稿についての決裁／報告>

- 「絶滅危惧植物保全データベース」に情報を提供する場合は、所属施設のルールに従って各自適切に行ってください。たとえば、下記のような活用方法があります。
- ①データベースに入力して【一時保存】する。
- ②一時保存したレコードを選択し、【→印刷用ページを開く】をクリック。表示された印刷用ページを印刷する。
- ③所属施設の決裁用書類／報告書等を作成し、印刷した入力内容を添付する。
- ④決裁後、一時保存したレコードを選択し、【投稿】ボタンをクリックして確定する。

<レコード名に園名等を表示したくない>

- 園名等を表示したくない場合は、「その他の情報」の「レコード名の表示設定」で「表示しない」を選択できます。表示しない場合は、「日本植物園協会加盟園（最終更新日時）」というレコード名になります。ただし、自分が入力したデータを検索するとき、とても不便になります。

<担当者が複数いる>

- 「絶滅危惧植物保全データベース」は、会員（園）ごとにユーザーIDとパスワードを割り当てているため、入力担当が複数名いる場合は注意が必要です。そのため、「その他の情報」に「編集者名」「編集者用メモ」欄を設けています。

「編集者名」にはそのレコードを記入している担当者の名前を記入、「編集者用メモ」に現在そのレコードどんな状態か（たとえば、園長の決裁待ち、文献の出典を確認中など）のメモを記入して、別の担当者への申し送りとして使えます。「その他の情報」は同じユーザーIDとパスワードでログインした者だけが見ることができます。



公益社団法人日本植物園協会
Japan Association of Botanical Gardens